

## 地位測定用モニタリングプロットの選定理由

会津地域は、冬季に平野部でも 1m 以上の降雪を記録する豪雪地帯であり、この降雪量は標高が高いほど、また平野部から離れ、山間部へ入るほど多くなっている。

また、会津地域では、同じ樹種、同じ林齢では、降雪量が少ないほど、成長が良いと言われており、これらを踏まえると、林分の成長は積雪量に左右されやすい性格を持っているものと考えられる。

このことから、本プロジェクトでは、樹種、標高及び平野部からの距離によって、対象森林を区分し、また、林齢が離れている区分については、高齢級と若齢級に区分し、その区分の中から別紙のとおり代表的な 8 箇所を地位測定用のモニタリングプロットとして選定した。

なお、本プロジェクトの対象森林は、小規模で点在しているため、今回同じ区分となっても、間伐実施時に樹高や林相が異なっていることが確認された場合には、その都度モニタリングプロットを追加し、より正確な地位の測定を行なうものとする。